

| 戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録            |                             |     |
|----------------------------------|-----------------------------|-----|
| 招 集 期 日                          | 令 和 6 年 8 月 2 2 日 ( 木 )     |     |
| 場 所                              | 戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室         |     |
| 開 会                              | 8 月 2 2 日 午 前 9 時 3 0 分     |     |
| 閉 会                              | 8 月 2 2 日 午 前 1 1 時 3 0 分   |     |
| 教 育 長                            | 戸 ヶ 崎 勤                     |     |
| 教 育 長 ・<br>委 員<br><br>出 席<br>状 況 | 戸 ヶ 崎 勤                     | 出 席 |
|                                  | 仙 波 憲 一                     | 出 席 |
|                                  | 木 村 雅 文                     | 出 席 |
|                                  | 長 道 修                       | 出 席 |
|                                  | 浜 田 美 咲                     | 出 席 |
| 説 明 員<br><br>( 出 席 者 )           | 川和田教育部長、梶山参事、片境次長           |     |
|                                  | 金澤教育総務課長、河西学務課長、杉森教育政策室担当課長 |     |
|                                  | 鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課課長          |     |
|                                  |                             |     |
| 書 記                              | 教育総務課総務担当 我妻副主幹             |     |
| 傍 聴 人                            | 4 名                         |     |

## 会議の経過及び結果

教育長

あと少しで夏休みも終わります。近年、子供の学び（ラーニング）と休暇（バケーション）を組み合わせた「ラーケーション」を導入する自治体がじわりと増えています。昨年度から先陣を切ったのは愛知県と別府市で、今年度は茨城県、日光市、沖縄県座間味村も加わりました。ラーケーションの日は、子供が保護者等とともに、平日に、校外で体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行する日です。校外での自主学習活動であるため欠席扱いにはなりません。土日に休みにくい家庭でも子供とのふれあいが増えるなど肯定的な意見がある一方で、勤務先の理解がないと休めない、学習の進度が心配で学校を休ませることに不安がある、といった保護者の意見や、取得できる子供とできない子供の格差ができる、といった学校や教育委員会からの声もあります。

話は、変わりますが、この夏休みに自然や芸術、文化などに触れて感動体験をした子供たちも少なくないと思います。果てしなく広がる空の下で、この広大な宇宙に比べ自分はなんて小さな存在なのだろう、と思ったり、登山で頂に立って広大な山々が連なるパノラマを見渡し、ちっぽけな自分を感じたり。自然だけでなく、文学や芸術に触れる、自分では到底及ばない能力やスキルを目の前にする、スピリチュアルな体験など、大きな感動や人智を超える感覚を味わう体験を脳科学では Awe 体験といいます。Awe という英語を和訳すると畏敬、畏怖に当たります。

様々な研究では、Awe 体験によって脳が活性化し、自分のエゴが少なくなり謙虚な気持ちになる、他人に対して寛大になれる、だまされない思考力や見破る力が育成される、未来の時間の感覚をもてるようになり視座が高くなり、社会性のある行動をとれるようになる、つまり、今から 100 年後の未来は、多くの人にとって自分はこの世に存在しない世界です。その未来を、自分には関係ないではなく、今と同じように価値があると実感することができることです。このように Awe

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>体験の様々な効果が明らかになってきています。また、Awe 体験を重ねることで心の健康のみならず、肉体的にもよいという研究結果もあります。</p> <p>因みに、街のネオンやきれいな夜景などでは、このような Awe 体験は起こらないようで、大きな感動や何か人智を超える感覚で、脳は活性化するようです。これまでも森林浴や自然での体験、運動がストレスを軽減することは、様々な研究において科学的に立証されています。ドイツの諺に「トラックいっぱい薬より一台の自転車」というのがあるように、自然の中で風を切り自転車を漕ぐことがメンタルによいというのは、すでに分かっています。このように、広大な大自然や大宇宙の悠久さを体験することは、単に心が洗われるだとか、気分転換になるだけでなく、具体的に心身ともにより影響があります。大切なのは、Awe 体験をして、謙虚な気持ちになったり、利他の気持ちが強くなったりすることです。</p> <p>近年、ウェルビーイング (Well-being) という言葉をよく聞くようになりましたが、その実現のためにも、豊かで幸せに生きるためにも、大人も子供も脳を活性化する Awe 体験をすることが重要だと思います。</p> |
| 教育長 | <p>それでは、ただ今から、令和 6 年第 8 回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>  |
| 各委員 | <p>了承</p>   |
| 教育長 | <p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>   |
| 各委員 | <p>署名</p>   |
| 教育長 | <p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障</p>  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告事項 令和6年度第1回戸田市海外留学奨学生について</p>  |
| 各委員 | (異議なし)   |
| 教育長 | それでは「報告事項」は、秘密会とすることに決定いたしました。   |
| 教育長 | <p>では、「教育委員提案」について御報告いたします。</p> <p>木村委員から御提案のありました「教育委員提案 学校施設の増改築工事について」事務局より説明願います。</p>  |
| 説明員 | <p>木村委員から御提案いただきました「学校施設の増改築工事」の考え方や状況について、教育総務課から御説明いたします。</p> <p>学校施設の現状ですが、市内小中学校の多くの学校施設につきましては、昭和40年代～50年代に建築したものが多く、老朽化した施設が多くなっています。また、近年、駅周辺を中心とする一部の地域では人口の増加に伴い、教室不足などの問題が生じています。</p> <p>このことから、老朽化に伴う改築（建替え）と教室不足に向けた増築工事を行っています。表のとおり、戸田東小中学校の改築を皮切りに、ここ7年で6校の増改築工事が行われております。</p> <p>ここからは、改築工事と増築工事のプロセスについてそれぞれ御説明いたします。はじめに、老朽化による学校施設の改築についてです。</p> <p>学校を含めた公共施設については、企画財政部が統括する「戸田市公共施設再編方針」に基づくアクションプランのもと計画的に進められています。この計画においては、施設の機能が長期にわたり保たれるよう、経年劣化による影響が大きい部位に対して、計画的な予防保全を基本として、効率的な改修工事を行うこととしています。</p> <p>また、予防保全の実施により公共施設の耐用年数を延ばし、建替えの回数を減らすことで費用削減を図る計画としています。</p> |

鉄筋コンクリート造の校舎については、耐用年数 80 年を目標としておりますが、建築後 45 年経過した建物については、コンクリートの状態や建物の傾きがないかなどを調査する健全度調査を実施し、構造躯体などの劣化状況を確認します。調査結果により建替えの時期等を計画していきます。

一方で、外壁や防水、電気設備、空調などの設備については、表に示しているとおり躯体よりも改修周期が短いため、然るべき時期にこれらの改修を行いながら長寿命化を図るなど、施設の安全性、快適性を維持しています。

次に、児童・生徒数の増加による学校施設の増築についてですが、近年の大規模マンションの建設や駅周辺を中心とした住宅開発などにより人口が増加し教室不足が生じる学校がないか、教育委員会事務局、企画財政部、都市整備部の関係部署で組織した「児童生徒増対策検討委員会」にて、毎年度、住民基本台帳に基づいた各学校の児童生徒数を把握したり開発の動向を共有したりして今後の対策について話し合っております。

これにより、近い将来教室不足が見込まれた場合、増築の検討を開始するわけですが、増築校舎が完成するまでには、予算計上、設計、工事の行程を踏む必要があり、3～5年の時間を要します。

その間、教室が不足しないよう、児童・生徒の急増による教室不足に対応する取組みとして、令和元年7月に「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」を制定しました。当該要綱では、受入困難地区等の指定により、一定規模以上の住宅開発について事業者と計画段階から協議を実施し、一定期間住宅開発を抑制することで、健全な教育環境を確保することとしています。

本要綱の趣旨は、過度な人口抑制を図るものではなく、あくまでも、教室不足による学校運営に支障が出ないよう一時的に開発の抑制をお願いするものであり、増築工事等で教室数が確保された暁には受入

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>困難地区指定の解除を行うものです。</p> <p>次ページを御覧ください。</p> <p>今後の学校施設増改築工事ですが、健全度やコスト、予算の平準化の観点から市の公共施設全体の最適化を図る計画である「戸田市公共施設マネジメントアクションプラン」にて計画的に行っていきます。</p> <p>計画上位置づけられている今後の学校施設の増改築工事の予定につきましては、表のとおりで、毎年のように実施される予定となっております。</p> <p>ただし、本計画は、毎年度、市長を筆頭とした幹部層で構成される公共施設本部会議のもと計画の進捗を確認し、状況に応じて計画をローリングしながら実行していくものとなっていることから、状況に応じて計画が変更となることもあります。</p> <p>また、表は、増改築工事の予定となっておりますが、その他外壁改修や設備改修等の工事も計画に位置付けられ、計画的に取り組んでいきます。</p> <p>今後も学校施設の改修工事が続きますが、施設の安全をしっかりと確保できるよう取り組んでまいります。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>  |
| <p>委 員</p>   | <p>ありがとうございました。学校訪問で行く学校が工事中なことが多く、増改築工事がどのように進んでいるのか気になっていたのですが、きちんと考えた上で計画されていることがわかりました。</p> <p>様々な設計案があがってくると思うのですが、この前、横に長い教室を見る機会がありました。教室は基本的に縦に長いですが、横長だと、奥行きがない分、生徒との距離が近くなります。その為、個人的には横長の教室の利点もあると思っているのですが、今後、教室を横長にする予定はありますか。</p>  |

|            |  |
|------------|--|
| <p>説明員</p> | <p>文科省等で示されている、標準の教室は8メートル×8メートルの正方形の教室です。しかし、それはあくまでも標準で示されているだけで、教室を大きくしてはいけない、横長にしてはいけないということはありませんので、教室を大きくしたり、形を変えたりということは可能です。</p> <p>今、御提案いただいた横長の教室というのはあまり出てこない話ですが、教育的な効果が他市でも実証されているのであれば、1つの方策だと思います。</p> <p>また、教室の考え方として、1個1個の教室を作りつつも、フレキシブルに真ん中の壁を取って広くすることも建築技術上は可能かと思しますので、増改築工事の際には学校の状況や教育的効果を考えながら、教室の大きさや形を考えていきたいと思っております。</p> |
| <p>委員</p>  | <p>ありがとうございます。よろしくお願いいたします。</p>  |
| <p>教育長</p> | <p>今の教室や机の大きさは、ICT機器をマストアイテム化し、子供が動き回って学ぶいわゆる非同期型の学びには狭いのではないかと思います。やはり教室の大きさは御指摘のように、これから考えていけないといけません。</p> <p>だからといって、大きくすればイニシャルコストだけではなく、ランニングコストも膨大にかかる等の問題もあります。なかなか正解がないので非常に頭を悩ますところではありますが、いずれにしても御指摘されたようなこれからの教育にふさわしい教室のあり方を検討していかなければならないと思っています。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>現在、マンション等の建設で教室不足が懸念される学校はありますか。</p>  |
| <p>説明員</p> | <p>新曽第一土地区画整理事業が進んでおり、北戸田駅から南側の整備をしていくと、そこで土地の売買が出てマンションも建つ可能性があります。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>ります。まだ具体的なことは決まっていらないようですが、周辺の学校に関しては、動向を注視しておかなければいけない状況です。</p> <p>幸いに、芦原小学校につきましては、現在、増築工事をしておりますので、キャパシティーは問題ないと考えておりますが、新曽北小学校は受け入れ困難な状況になっております。</p> <p>ただ、児童生徒の動きも以前と比べて少し伸び方が緩やかになっているので注視しているところです。</p> |
| 委員  | <p>資料 5 ページの表を見ると、新曽小学校の工事が令和 16 年以降も続くとあります。</p> <p>場合によっては計画が大きく変更になることもあるようですが、学校側、例えば新曽小学校側は設計の全体計画を知っているのですか。</p>   |
| 説明員 | <p>令和 15 年までの計画ということで、全体計画としては公表しているところです。</p> <p>新曽小学校につきましては、南側に残る校舎の建替えを行う予定ですが、そこに関しては、まだ検討がスタートしていないので、スタートしたタイミングで学校にお伝えしていくことになっています。</p>   |
| 委員  | <p>わかりました。先程、45 年経過した場合にという話がありましたが、一般的に、見た目がすごく凝っていて良い建物でも大雨が降った際に雨漏りがすごい建物もあるようです。</p> <p>あまり見た目にこだわりすぎても修繕に費用や手間がかかることもあるので、増改築工事の際にそのあたりも考慮していただけるとありがたいです。</p>  |
| 説明員 | <p>増改築工事にあたっては、基本的に建てて終わりではなく、その後のメンテナンスのしやすさも考慮しております。</p> <p>そのため、校舎は、学校現場の意見や周りの方の意見を聞きつつ、基本的にはシンプルにすることも重要なポイントであると考えてい</p>  |



|     |  |
|-----|--|
|     | ます。  |
| 委員  | <p>増築について、今ある敷地内で増築をするということは、校庭や自然、遊具が減っていくということだと思います。</p> <p>工事中は校庭も狭くなってしまって運動会ができなかったり、休み時間に校庭で遊べなかったりと、子供たちにもすごく不便な生活を強いることになります。中にはそういう不便な生活をしてそのまま卒業し、新しくできた校舎で生活できない子供たちもいると思うので、もちろん配慮していただいているとは思いますが、そういう子供たちの気持ちにも最大限配慮して計画をしていただけたらと思います。</p> |
| 教育長 | 非常に切実な問題ですね。   |
| 説明員 | <p>工事が終わった後、通われる子供たちは喜ぶと思うのですが、そのさなかにちょうど卒業する子供たちは残念な思いを残したまま卒業していくということは、切実な問題だと思っています。また、工事中によって、校庭が狭くなってしまったり、それまであった遊具がなくなってしまうこともあります。学校や周りの方の意見も伺い、最大限配慮しながら工事を計画していければと思います。</p>  |
| 教育長 | <p>戸田市の現状を考えると、グラウンドの代わりになる土地はなかなかないのですが、少しでもどうにかできないかということは常に考えていきたいと思っています。</p> <p>他にはよろしいでしょうか。</p>   |
| 委員  | <p>建物や教室が立派な学校も、階段は狭いと思うことが多いです。</p> <p>十分考えて設計していると思うのですが、人数がいる中で階段や廊下も狭いと不安があるので、十分配慮していただけたらと思います。</p>  |
| 説明員 | <p>承知しました。なお、昭和40年代など以前に建てた学校は、当時の基準で建築していますので、階段や廊下が少し狭い状況もありますので、現状にあったものになるよう検討をしていきます。</p>   |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>教 育 長</p> | <p>続きまして、浜田委員から御提案のありました「教育委員提案 - 1 近視の子の推移、学校での対策について及び - 2 戸田市の子供の体力の現状について」、事務局より説明願います。</p>  |
| <p>説 明 員</p> | <p>それでは、浜田委員から御提案のありました「子供の視力の現状について」説明いたします。</p> <p>はじめに、全国的な状況です。学校における視力検査については、学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則に基づき、全国の小中学校で毎年度、6月末までに実施されています。</p> <p>昨年 11 月に文部科学省が公表した令和 4 年度の学校保健統計調査の結果によると、裸眼視力 1.0 未満の児童生徒の割合が過去最低であったとのことです。裸眼視力 1.0 未満の児童生徒の割合は、学校段階が進むにつれて高くなり、小学校では約 38%、中学校では約 61%となっています。平成 26 年度と比較すると小中学校共に、7～8 ポイント高くなっており、年々視力低下が進んでいることが分かります。</p> <p>朝日新聞の考察には「スマートフォンのような電子機器の長時間使用が影響しているとみられる。」とあり、生活様式の変化が視力の低下と関係していることがうかがえます。</p> <p>続いて、本市の状況です。このグラフは、平成 26 年度から令和 5 年度の市内小中学校の視力検査の結果です。一番下の水色が裸眼視力 1.0 以上の児童生徒の割合。その上が 0.9 未満から裸眼視力省略者となっています。まず左側の小学校を見ると、令和 5 年度の裸眼視力 1.0 未満の割合の合計は、40%となっています。平成 26 年度の 33.6%と比べると、7 ポイント程度割合が高くなっており、全国的な状況と同様に視力低下が進んでいると言えます。</p> <p>右は中学校の状況です。本市の令和 5 年度の中学校の裸眼視力 1.0 未満の生徒の割合は、67%となっており、小学校よりも高い状況となっています。</p> |

小中学校共に、全国の数値より 1.0 未満の子供の割合がやや多い理由として、本市は、都市部に位置しており、都市型の生活様式が影響しているのではないかと考えられます。

これらの状況について、市内の養護部会でも話題に上がることがあり、各学校で養護教諭を中心として啓発活動等を行っています。例えば、目の健康啓発のための特別授業や、児童生徒の保健委員会によるアンケートや目の健康動画の作成など。また、視力の低下は、学校の環境だけでなく、家庭での生活環境や生活習慣も影響が高いとと考えられることから、保護者への啓発のための保健便りの発行や、PTA が参加する学校保健委員会で目の健康とデジタル機器に関する講演会の開催等を行っています。子供の意識を高めるために、朝の授業開始前の時間に目の体操を実施している学校もあります。

また、視覚機能のトレーニング方法としてビジョントレーニングというものもあります。ビジョントレーニングとは、目でものの性質や状態を捉える力を高め、見たものを正しく認識したり、自分の身体をイメージ通りに動かす機能を向上させたりするためのトレーニングです。ここでいうビジョンは、視力だけを指すものではなく、「ものを見る力（視覚機能）」全般を指します。トレーニングの内容としては、目を左右上下に動かす、斜めに見るなどの眼球運動トレーニングや近距離と遠距離の視線を交互に合わせるなどの焦点調節トレーニング、奥行きや立体感を認識する能力を鍛える立体視トレーニング等があります。

一般的には、書いてある文字や文を読み飛ばしてしまうなどの生活や学習上の困りごとを改善したり、動いているボールに合わせて自分の体を動かす反応を高めるなどスポーツのスキルアップを目指したりする目的で活用されており、集中力の向上、読み書きの効率化、スポーツのパフォーマンスアップ、眼精疲労の軽減も期待できるそうです。直接視力を高める効果があるかどうかは分かっていませんが、このようなものも学校に紹介するなどして、引き続き子供の視力への意

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>識を高めていけたらと考えています。</p> <p>次の動画は、その一例なので、皆さんで体験してみましょう。</p> <p>以上でございます。</p>  |
| <p>説明員</p> | <p>続いて戸田市の子供の体力の現状について御説明いたします。</p> <p>13 ページから御覧ください。体力を評価するものは「新体力テスト」で、毎年度 4 月～7 月に実施されます。種目は 14 ページにあるように 8 種目で、小学校がシャトルランに対して中学校で持久走、小学校でソフトボール投げを行ったものが中学校ではハンドボール投げになります。</p> <p>15 ページは、令和 5 年度の結果になります。まず、戸田市は小学 5 年生が男女ともに、全国平均を上回っています。中学 2 年生は全国・県共に上回る結果となっており、そちらの新聞記事にもありますように、埼玉県は特に中学 2 年生で全国 1 位の結果ですが、戸田市はそれよりも高い結果になっています。</p> <p>16 ページは新体力テストの指標になっている「体力合計点」の経年変化になります。新型コロナの影響だと推測されますが、どの学年も令和 3 年度に落ち込み、その後、向上したり、下げ止まったりしている様子が分かります。青が全国ですので、同じような推移であるとともに、戸田市が全国を上回って推移している様子も御覧いただけたらと思います。17 ページはいくつか種目ごとに抜粋してみたもので、発達の段階で徐々に力を付けている様子は見て取れますが、やはり令和 3 年度で一度大きく落ち込む様子が見られます。18 ページ、これらを考察しますと、令和 3 年度に低下した状態からは回復の傾向が見られます。中学校では、コロナ前の結果を超える種目も出てきています。他方、小学校低学年ではさがり続けているものもあり、体力の低下が見られます。分析としては新型コロナが 5 類に移行したことにより、体育授業における活動内容の制限が解除され、体力が再向上する要因となっている可能性がございます。一方、生活習慣や環境の変化などに</p> |

|              |   |
|--------------|---|
|              | <p>よる生活経験や運動経験の減少が体力向上を阻害している要因も考えられます。</p> <p>そこで、19 ページ、体力向上に向けた取組ですが、市の子供の体力向上推進委員会で小・中合同の授業研究会を実施したり、各学校の課題や優れた取組を中学校区で共有したりするなどしています。また、20 ページにありますように、戸田市が連携している「戸田中央メディックス埼玉」の選手みなさんにボール投げ教室をしていただいたり、ティーボール教室を実施したりする取組や、21 ページのように体育実技を適切に指導するための伝達講習会なども実施しています。</p> <p>11 ページ、今後に向けては、運動の特性や楽しさに触れ、結果として体力向上につながる授業に向けた授業改善を引き続き取り組むこと、児童生徒一人一人の実態把握と分析に基づく指導の充実、体力向上に向けた組織的・計画的な体育的活動の実施、家庭と連携して取り組む運動習慣・生活習慣の改善などに取り組んでまいります。</p> <p>説明は以上となります。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>   |
| <p>委 員</p>   | <p>視力については、想像していた以上に 1.0 未満の子供が多く、正直驚きました。でも視力低下の原因は家庭にあるのではないかと考えていて、いくら親がスマートフォンやタブレットの使用時間を決めても子供が聞かなかったりするので、なかなか難しいことだとも思います。お便りで出すだけだと読まない子供も多いと思うので、みんなで目の体操をやる等、実践的な対策をこのままやっていただけたらと思いました。</p> <p>また、体力については、戸田市の体力がすごく高いということで驚いたのですが、今の時代、熱中症対策というのが春頃から言われてなかなか外で思いっきり体を動かす機会が減ってきてしまっています。こういうことを言うと批判を受けるかもしれないのですが、ある程度暑い環境に居ることに慣れないとますます体が対応できなくなって</p>  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>しまうと思うので、少し暑い環境の中で体を動かすということも必要なのかと思っています。様々な意見があると思うので、なかなか一律に学校でというのは難しいと思うのですが、引き続き高い体力を保てるようにしていただけたらというふうに思います。</p>  |
| 教育長 | <p>ありがとうございました。何十年も前からこの視力低下というのは話題になっていました。あの当時はスマートフォンやタブレットはなかったもので、テレビを長時間見すぎているのではないかと言われていました。だから、視力低下は最近の話ではなく、長い期間に渡って指摘されていて、特に近年は小さい画面を見る機会が増えたので、急激に割合が高まっているのだと思います。</p> <p>また、とだっ子の体力の高さについては、意外に知られていないのですよね。埼玉県が全国1位で、戸田市の子供はその中でも上の方なので、これはもう全国の自治体の中でもトップクラスの体力を持っているということをもっと知ってもらいたいです。</p> |
| 委員  | <p>そんなに高いとは思っていませんでした。</p>   |
| 教育長 | <p>そうですね。だからもっと担当からPRしてもらっていいのかなという気はしています。ただ、小学校の低学年に課題があるということなので、様々な体力向上の取り組みを学校教育で引き続きやっていきたいと考えています。</p>  |
| 委員  | <p>説明を聞いていて、視力低下というのは、やはり姿勢の影響もあるのではないかと思います。パソコンを見るのにも、前屈みや斜めに見たりして、基本の姿勢を机の上でとれていないことにも問題があるのかと思いました。</p> <p>それから体力の方は学校側もよく頑張っていて、努力している結果が出ていると思います。特にあまりボールを投げたことがない子供たちに突然ボールを投げると言ってもできないので、戸田中央メディック埼玉の講習をした後の記録はかなり伸びたのではないかなと思います。やはりこういうことは教えないとできないような内容もある</p>                                    |

|     |  |
|-----|--|
|     | ので、3校だけでなく、もっと広めていただきたいです。   |
| 教育長 | ありがとうございました。   |
| 委員  | 不勉強で、戸田市の小学校体育実技伝達講習会について今日知りました。もちろん、子供の体力の向上は、家庭あるいは地域の中で養われていくものだと思いますが、同時に、学校もその一翼を担っているという考え方ですね。全ての学校がそれを担えるとは思いませんが、先生方が体力向上に向けた取り組みの講習を行って、子供たちに楽しさやアドバイスを教えてあげるということをぜひこれからも続けていただければと思っています。 |
| 教育長 | いくつかある種目の講習を戸田市の代表として受講した先生方が、市内の各校の先生と共有し、授業で指導していくというやり方をとっているのですよね。   |
| 説明員 | はい。種目は、水泳運動、運動遊び、体づくり運動、ボール運動、表現運動などがあり、毎年、その中から実技伝達講習会を実施しています。   |
| 教育長 | この講習会以外にも、年次研修等で様々な体力向上の研修はやっていきます。  |
| 説明員 | <p>教科の部会の中でも数多く行っていて、授業研究から学んだり、実際に研修をしたりしています。</p> <p>この実技伝達講習会の本市における特徴は、保育園の先生方も一緒に交えてやっているという点があります。多くの自治体は小学校の先生のみでやるところが多いと思いますが、本市では、その前の段階からということで、市長部局とも連携して、保育園の先生方も参加しています。</p>             |
| 教育長 | 教育委員会がイニシアチブをとって、保育園の先生も一緒に参加してもらっています。小さいときから、体を動かす習慣は重要なので、遊びをとおした運動も多くありますので、意図的に教育委員会から市   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>長部局に働きかけています。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>   |
| 委員  | <p>戸田市は公園が多いですね。</p> <p>小さい子供はそういうところで遊んだりしているので、体力が高いのかなと思います。私も小さい頃は駆けずり回って自転車を乗り回していたので、そういうことができる場所が増えてくれば、数値的な体力も違ってくるのかなと思います。自由でのびのびと動けるところが沢山できたら良いと思います。</p>  |
| 教育長 | <p>最近は様々な制限があって、一般の公園は小学校高学年以上のボール遊びが禁止されているところも多く、ボール投げやサッカーもできないですね。</p>   |
| 説明員 | <p>ボール公園や青少年の広場という限られた公園のみとなります。</p>   |
| 教育長 | <p>学校でのボール使用は可能ですが、ただ、委員さんが言われたような自転車に乗ることはできません。</p> <p>確かに昔のように自由にのびのび遊べる場所は、近隣住民の方の御理解も必要なので、戸田市に限らず減ってきているものと思います。そこを補うために学校体育がますます重要になっている気がします。</p>  |
| 教育長 | <p>それでは以上を持ちまして教育委員提案を終了いたします。</p> <p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして7件の報告がございます。</p> <p>令和6年7月24日の風雨による学校施設被害について</p> <p>令和6年度第1回戸田市海外留学奨学生について【秘密会】</p> <p>戸田市サイエンスフェスティバルについて</p> <p>不登校対策に係る動向について</p> <p>埼玉大学・戸田市連携講座の開催について</p> <p>郷土博物館開館40周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～の開催</p> |



|            |   |
|------------|---|
|            | <p>について</p> <p>その他</p> <p>資料 No.2 に基づいて、秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>  |
| <p>説明員</p> | <p>報告事項 「令和6年7月24日の風雨による学校施設被害」について御報告いたします。</p> <p>資料2ページを御覧ください。</p> <p>教育委員の皆様には、当日、速報をお知らせいたしましたでしたが、改めて、その概要と対応状況について御説明いたします。今回の雷の伴う暴風雨については、倒木等の木々の被害がありました。</p> <p>1つ目は、美谷本小学校のシンボルツリーであるケヤキの倒木です。このケヤキは、市の景観重要樹木でもありましたが、雷を伴う暴風雨により根元から折れてしまいました。幸い、学校が夏休みということもあり、子供たちを始め先生方など人的な被害や建物への被害はありませんでした。当日は、カラーコーンや虎柄のバーで区画し立入らないよう注意を促しました。その後、7月31日に業者により倒木の片付けを行いました。撤去に当たっては枝や幹の状況を確認しながら活用できそうな部分を何らかの形で子供たちの生活や学習に活かせるように学校に保管しております。用途については、子供達や地域の方々と一緒に、より良い方法を検討していくとのことです。</p> <p>2つ目は、新曽北小学校の西門の南側のサクラの木の倒木です。この木は、道路沿いに植えられておりますが、敷地側のごみ収集庫の上に倒れ傷がつきましたが、通行人や敷地内への人的被害はありませんでした。なお、24日中に撤去しました。</p> <p>また、水道本管から赤水が発生しましたが、翌日に水の入替を行い通常に戻っています。</p> <p>3つ目は、笹目中学校の木々の折れ枝等が民地に飛んできているとの通報があり、当日、職員が回収しました。これによる被害はありま</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>せんでした。</p> <p>報告は以上となります。</p>   |
| 説明員 | <p>報告事項 「戸田市サイエンスフェスティバル 2024」について報告いたします。</p> <p>今年度のサイエンスフェスティバルは7月20日土曜日の午後に芦原小学校にて開催いたしました。委員にも御参加いただきありがとうございました。</p> <p>当日は熱中症警戒アラートが発表されている日でとても気温が高かったのですが、331名の参加がありました。講座名や協力団体名、また当日の様子は資料にあるとおりです。今年度の新規としては4番荏原（えばら）製作所による「ポンプって何だろう」でこれが、ポンプで吸い上げる仕組みを模したもののなのですが、見ただけでは理解が追いつかず、実際に作ってみて納得という仕様になっており、人気のブースとなっております。2番サーモフィッシャーサイエンティフィックさんによる色素の分離を使った作品作りや6番グリーンガーディアンズさんのペットボトルカップへの植栽、8番の株式会社リコーさんの360度カメラによる撮影をとおして仕組みを学ぶ教室などがありました。</p> <p>参加人数については、会場校の芦原小の5年生林間学校ということもあり、4年ぶりに実施した昨年度よりも少し少ない人数でしたが、熱中症が心配される日であったことを加味すると、安全に運営する上ではちょうどよかったと感じております。予定では外で行うはずの受付を急遽建物内に移動させるなど、臨機応変な対応も実施しました。また、児童や保護者も各ブースにうまく分散されておりましたので、熱中症対策の面でも、興味関心を持続させる面でも適切であったと考えます。</p> <p>今年度は昨年度以上の教員や支援員にサポートをしてもらっています。来年度以降も、さらに充実した内容、運営体制となるよう検討していきたいと考えております。</p> |

|            |  |
|------------|--|
| <p>説明員</p> | <p>つづいて、報告事項 「不登校対策に係る動向について」報告いたします。</p> <p>これは、昨年度教育委員提案で不登校対策について御説明した際に、その後の様子についても適宜報告する、としたことによるものです。</p> <p>1、多様な学びの場の活用状況については、(1) 小学校の「ぱれっとルーム」は昨年度、94 名が利用しました。(2) 戸田翔陽高校内に設置した「いっぽ」については、昨年度は6 名が利用、令和6 年度はすでに2 名が登録している状況です。(3) シェア型オンライン教育支援センター「room-K」については令和5 年度27 名の登録、今年度は7 月現在計24 名の児童生徒が利用しております。(4) 「すてっぷ」につきましては、年々利用数が増えており、令和5 年度は54 名の登録があり、今年度もすでに31 名の登録がある状況です。「西すてっぷ」は昨年度と今年度ともに6 名、同じ児童生徒です。これらの体制で不登校児童生徒の対応に当たっております。</p> <p>2、新規事業としては、国の補助金を原資にして、中学校にも校内サポートルーム「きゃんばすルーム」を設置予定です。10 月から全中学校で運用を開始する予定となっております。</p> <p>3 の調査分析にかかるところでは、令和4 年度から、ラボを立ち上げ、今年度は表にあるような先生方に御協力いただき、ぱれっとルーム等の効果検証を進めております。速報値として教育委員提案でも示したように、児童・教職員・保護者いずれもぱれっとルームの効果を感じているといえる状況です。</p> <p>最後に4 のシンポジウムの開催についてですが、令和6 年度は10 月12 日土曜日に文化会館3 階にて行います。文部科学省 大臣官房総務課 の藤井 健人 様に講演をいただく予定です。ちなみに、ご自身も不登校を経験され、戸田翔陽高校出身、現在文科省というそれまでにない経歴の持ち主の方です。今後チラシも配布しますので、教育委員の皆様におかれましては予定の許す限り御出席ください。</p> |
|------------|--|

|            |   |
|------------|---|
| <p>説明員</p> | <p>報告事項 「埼玉大学・戸田市連携講座の開催」について説明いたします。</p> <p>「埼玉大学の研究を共に学ぼう」というキャッチフレーズのもと、人文(じんぶん)科学(かがく)研究科や理工学研究科の先生方により、「ナッジ政策の有効性と倫理的問題」、「ロボット嗅(きゅう)導(どう)犬(けん)の開発を目指して」、「アメリカ政治外交の現在地」、「脳科学から紐(ひも)解く(と)こころの性」と題し、多彩なテーマで、最先端の研究成果を御講義いただきます。全4回の講座で、オンデマンド受講も可能です。</p>   |
| <p>説明員</p> | <p>報告事項 「郷土博物館開館40周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～」の開催について、御説明いたします。</p> <p>昭和59年11月の郷土博物館開館から今年で40年を迎えることを記念し、皆様への感謝の気持ちを込めて、記念イベントを開催いたします。</p> <p>開催日は11月2日(土)、3日(日)の2日間となります。</p> <p>主なイベントとして、</p> <p>2日(土)は、郷土博物館・図書館バックヤードツアー、発掘体験講座を、3日(日)は、新曽中吹奏楽部による40周年記念のコンサート、ボランティアによる常設展示室の古民家を活用したおはなし会を開催いたします。</p> <p>2日間共通のイベントとしては、子供大人も楽しめる、ぬりえ体験などを開催します。軽食販売やキッチンカーの出店、埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校による40周年のロビー記念展示も行います。</p> <p>また、通年冠事業として、10月5日からは、「新収蔵品展」も開催し、40周年を盛り上げてまいります。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>報告事項 その他 について、事務局から何かございますか。</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>特になし。</p>  |
| <p>教育長</p> | <p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありました</p>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | ら伺います。  |
| 教 育 長 | <p>まず、報告事項 令和6年7月24日の風雨による学校施設被害について、いかがでしょうか。</p> <p>美谷本小学校のケヤキについて、具体的に、子供たちや卒業生からの活用案は出てきているのですか。</p>  |
| 説 明 員 | <p>現在、こういったものが作れるかを業者に問い合わせしたり学校で検討したりしているところです。</p>  |
| 教 育 長 | <p>卒業生や地域の方の思い入れも強い「シンボルツリー」なので何かできるといいですね。</p>   |
| 説 明 員 | <p>何か形にしていきたいという学校の思いも含めて、寄り添っていければと思います。</p>   |
| 委 員   | <p>先日、たまたま美谷本小学校に行った際に、樹木医を頼むと1本100万円かかるという話題が出ました。100万円は厳しいと思ったのですが、樹木医までいかななくても、例えば、庭師の方とか植木に詳しい方だったら、ある程度、樹木の状態を確認できるのかと思い、検討してみても良いかと思いました。</p> |
| 説 明 員 | <p>現在、定期的に剪定等を専門業者に依頼しており、折れそうな危ない木は逐次報告を受けております。報告を受けた際には伐採をしたりもしておりますが、今回は想定をかなり超える短時間で発生したので、今後は最悪の事態を想定しながら対応できるように検討していきたいと思います。</p>           |
| 教 育 長 | <p>では、報告事項 戸田市サイエンスフェスティバルについて、いかがでしょうか。</p>  |
| 委 員   | <p>今年初めて参加させていただきました。本当にどれもすごく興味深い講座ばかりで、整理券をもらって参加する講座を時間内に3つ受けさせていただきました。どれも楽しく、整理券をもらわなくても、参</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>加できる講座もいろいろとあったのですが、そちらに行く時間がなかったのもので、ぜひ開催時間を延ばしていただけたらと思いました。</p>  |
| 説明員 | <p>検討したいと思います。ぜひ来年度も御参加いただき、リピーターとなっていただければ嬉しいです。</p>  |
| 教育長 | <p>こちらはそれぞれのブースで創意工夫してもらっています。</p> <p>また、42名の方にボランティアとして参加してもらっています。子供たちにわくわくした体験をさせてあげたいという人たちが集まっていて、これは本当に戸田市の非常に誇れるイベントではないかなと思います。</p> <p>しかし、その割には意外に知られていないのではないのでしょうか。</p> |
| 説明員 | <p>もっと情報発信をしていきたいと思います。</p>  |
| 教育長 | <p>意外に知らない保護者の方もいますよね。</p>   |
| 委員  | <p>そうですね。知り合いにも会わなかったのもので、あまり知られていないのかなと思いました。</p>   |
| 教育長 | <p>もっと早い段階で情報発信を行うよう、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>では続きまして、報告事項の 不登校対策に係る動向について、いかがでしょうか。</p>  |
| 委員  | <p>個人的に思ったことなのですが、それぞれの学び場の名前が抽象的と言いますか、もう少し統一的な名前を使えないのかなと思いました。というのも、外部の方から見ると、「これは何の取組だろう」と思う方も多くいらっしゃると思うのです。</p>  |
| 教育長 | <p>それぞれのネーミングでできるだけ温かい言葉がいいだろうということで、中には子供たちの声も聞きながら、決めていったという経緯があります。確かに一覧にしてみると、分かりづらいところがある</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>のはおっしゃる通りかと思えます。</p> <p>今の御指摘の部分で根幹になるのは、「それぞれで何をやっているかわからない」ということではないでしょうか。もっと、ここはこうしているという周知啓発に努めてもらう必要があるのだと思えます。説明員から何かありますか。</p>  |
| 説明員 | <p>小学校のぱれっとルームや中学校のキャンパスルームは「校内サポートルーム」というのが一般的な名前になると思うのですが、今、教育長からありましたとおり、子供たちの意見を聞きまして、キャンパスルームという名前をつけたという経緯があります。</p> <p>何をやっているところかということがしっかり説明できるようにこれからも努めていきたいと思えます。御助言ありがとうございました。</p> |
| 教育長 | <p>では、次の報告事項 埼玉大学・戸田市連携講座の開催について、いかがでしょうか。</p> <p>こちらも年々、内容が充実していて私も全部受けたいと思うくらいです。興味、関心を持っている方々にとってみたら、魅力的な講座がいっぱい並んでいるので、より周知に力を入れてほしいと思えます。</p> <p>もう定員は上限を超えていますか。</p>                        |
| 説明員 | <p>オンデマンド開催のものは定員がないので、そちらについては高校生を含めて今、周知をしております。</p>  |
| 教育長 | <p>これだけよい講座をやっているので、戸田市外の方から「戸田市はうらやましい」とよく言われます。戸田市民じゃなくても受講できないのかと言われることも多いです。</p>  |
| 説明員 | <p>興味・関心持っていただいて大変光栄です。</p>   |
| 教育長 | <p>埼玉大学の講座が充実してきて、非常に関心を持ってもらっています。ぜひ教育委員の皆さんもオンデマンドで視聴していただけるとい</p>  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>いと思います。</p> <p>では、報告事項 郷土博物館開館 40 周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～の開催について、いかがでしょうか。</p> <p>こちらも同じように周知はどのくらいやられているのですか。</p>  |
| 説明員 | <p>今後、広報に掲載されます。</p>   |
| 教育長 | <p>せっかく 40 周年記念のイベントなのでたくさんの人に集まってもらえるよう積極的に周知をしてもらえればと思います。</p> <p>委員の皆さんから何かありますでしょうか。こちらもぜひ、お時間があつたら足を運んでいただければと思います。</p>   |
| 教育長 | <p>他にはよろしいでしょうか。それでは次に、議案第 20 号令和 7 年度使用中学校教科用図書採択について、事務局より説明願います。</p>  |
| 事務局 | <p>議案第 20 号令和 7 年度使用中学校教科用図書採択について御審議をお願いいたします。</p> <p>すでに御案内のとおり、今回の教科書採択は令和 7 年度より使用する中学校各教科の採択を行うものです。これまで教育委員の皆様には、教科書研究を詳細に行っていたいただき、ありがとうございました。</p> <p>8 月 9 日には、蕨市役所にて、蕨市と戸田市による第 2 回埼玉県第四採択地区の採択協議会が開催されました。戸ヶ崎教育長と仙波委員には、採択協議会の委員として長時間にわたり、慎重な審議を行っていただき、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは別紙の「令和 7 年度使用中学校用教科用図書選定結果と採択理由案」を御覧ください。こちらは第四採択地区における小学校用教科書の選定結果です。左側に種目と発行者名、右側に戸田市としての「採択理由」の案を掲載しております。</p> <p>これらを踏まえ、戸田市としての教科書の採択について御審議のほどよろしくをお願いいたします。</p> |



|     |  |
|-----|--|
| 教育長 | <p>以上で、「議案第20号」が終わりました。</p> <p>一言ずついただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>  |
| 委員  | <p>実際に採択協議会では、どのような観点からどのような意見が出されたか教えていただければと思います。</p>  |
| 事務局 | <p>委員の皆様からは主体的・多様的で深い学びの実現に向け、デジタルコンテンツの活用のあり方や子供たちの思考の流れや気づきを大切にしているのか、あるいは実社会・実生活との繋がりをどのように大切にしているのか、あるいは教育長がよく仰っている個別最適な学びや協働的な学びの実現を図れるような構成かどうか、子供たちも先生たちも使いやすく、保護者にもわかりやすい内容かなどの観点から多くの意見が出されており、活発な協議が行われておりました。</p> |
| 教育長 | <p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>   |
| 委員  | <p>保護者にもわかりやすい内容かとありましたが、採択に向けて保護者の意見はどのように扱われたのでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>保護者の方の御意見につきましては、戸田・蕨両市のPTA連合会から代表者を選出いただきまして、その代表者に教科書研究をしていただきました。その報告書を採択協議会で事務局が委員の皆様へ報告しまして、その研究報告として協議に反映させていただいております。</p>  |
| 教育長 | <p>毎回、相当な労力をかけて、多くの方が検討していただいております。</p>  |
| 委員  | <p>学校からの意見はどのように考慮して採択したのでしょうか。</p>  |
| 事務局 | <p>学校からの意見につきましては、教育センターで教科書展示会を開催しており、市内全中学校の教員が多数参加しまして各学校で研究報告書を作成しております。これらの研究報告書をまとめて採択協議会の委員に目を通していただきまして選定の参考としていただいております。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 教育長 | 他にはいかがでしょうか。   |
| 委員  | <p>私も採択協議会に参加させていただいたのですが、どの教科書もすごいものばかりで甲乙つけ難いというか非常に工夫されていると思います。</p> <p>先程あった保護者からの調査報告というのは、とても印象に残っています。子供から見て、見やすい・わかりやすい・理解しやすいという観点で選んでくださいという要望が出ていまして、これは良い視点だと思いました。</p> <p>それと、特に二次元コードが沢山載っていて子供たちがそれを見ながらどんどん深い学びに入っていけるものが教科書を選ぶポイントになっているのではないかと思います。</p> <p>また、事務局の方をお願いをしたいと思います。教科書を実際に使った際に先生や子供たちがスムーズに使えるように、理解できるように何らかの支援等を丁寧にやっていただきたいです。</p> |
| 教育長 | <p>ありがとうございました。採択協議会に2回足を運んでいただいて、長時間に渡って議論に参加していただいたわけですが、他の委員さんも御自宅でそれぞれ、また、教育センターで教科書研究を長時間に渡ってやっていただいて深く感謝申し上げます。</p>  |
| 教育長 | <p>以上で、「議案第20号」が終わりました。</p> <p>では議案第20号は提案内容とおり議決することで御異議ございませんでしょうか。</p>  |
| 各委員 | 異議なし   |
| 教育長 | 異議なしと認め、議案第20号は提案内容のとおり議決いたします。  |
| 教育長 | <p>それでは次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程(案)」について、事務局より説明願います。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 次回、教育委員会定例会の日程ですが、9月19日(木)午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。   |
| 教育長 | 次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおりでよろしいでしょうか。  |
| 各委員 | 了承   |
| 教育長 | それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。   |
| 事務局 | 特になし。  |
| 教育長 | 委員の皆様から次回以降の教育委員提案のテーマについて何かございますか。  |
| 委員  | <p>先程、報告事項で豪雨によって学校の施設が被害を受けたということでしたが、夏休みだったから良かったということもあるかもしれません。</p> <p>もちろんすでにやっているとは思いますが、やはり定期的に校舎・校庭、あるいはその他の体育館や植栽等々の見回りや管理を充実していただけるといいのではないかと思います。特に樹木に関しては、公園などもありますので、学校だけで管理ということではなく、市全体で管理していくべきだと思います。私は、教育委員会のみならず、市全体できちんと環境整備という形で予算を出して面倒を見るべきだと思っています。</p> <p>そういうことについてどういうふうに修繕、あるいは維持管理をやっているのかを時間があれば報告いただければありがたいです。</p> <p>もう1つよろしいですか。</p> |
| 教育長 | どうぞ。   |
| 委員  | もう1つは、今、教員のなり手が減ってきていることについてです。  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>昔は教員の採用試験がとても難しく、教員になるのが難しかったという時代もありました。</p> <p>優秀な人材、若者というのは時代の流れにすごく敏感なところがあって、今は ICT 関連の業界に優秀な学生が多く流れています。逆に教員が減ってきているのはなぜだろうと考えていて、学校の教育水準を維持するという意味で、教員の採用というのはすごく大事だと思っています。戸田市としても若者に「戸田市でちょっと先生になってみよかな」と思わせるような、魅力ある施策をやっていけば教えていただきたいですし、もし難しいのであれば何が難しいのかを教えていただけるとありがたいです。</p> |
| 教育長 | <p>1 点目の施設設備は非常に重要なことです。ただこれは教育総務課だけではなく、管理訪問等の関係もあるので学務課と両方をお願いしたいと思います。</p> <p>2 点目の教員の魅力については、国や県だけでなく戸田市自体でも様々な努力をしています。また、本市は独自に教員免許を持っているが働いていないという方向けの研修を実施し、実際に研修を受けた方の中から数名が学校現場に立っています。</p> <p>委員さんにはまだ説明していなかった部分もあるので、戸田市独自で行っていることを説明したいと思います。こちらは学務課でお願いします。</p>                 |
| 説明員 | <p>戸田市の教育に魅力を感じて教員になったけれど、初任者は県で勤務地を割り振られるので来ることができず、その後、戸田市へ勤務地希望を出していただいているという状況が多いです。</p>   |
| 教育長 | <p>実は昨日、教育長と語る会があり、初任者と話しました。</p> <p>その中で一番多く出ていたのが「戸田市は例えば端末を家に持ち帰れるような環境が整備されていますが、他市に出してしまうと、こういう環境はないのですよね。どうにかできないのでしょうか。」という</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | 意見で、そういった自治体間の差があるのも問題なのではないかと思<br>いました。   |
| 説明員 | 先程、教科書の二次元コードの話があったと思うのですが、戸田市<br>では当たり前二次元コードを読み取ることができますが、他市では<br>二次元コードを読み込んでもずっと次の画面が出てこないというこ<br>ともあるようです。  |
| 教育長 | こういった自治体間の差は当たり前のようにあり、非常に難しい問<br>題です。<br><br>他にはいかがでしょうか。   |
| 委員  | 内容が他の委員さんがおっしゃっていたことと少し被ってしまう<br>のですが、美谷本小学校のケヤキに関連して、やはり、樹木の管理と<br>いうのは、素人が見てもわからないので、樹木の管理をどのようにや<br>っていて、どのように予算をつけているかということをお教えいただ<br>ければと思います。                        |
| 教育長 | 先ほど他の委員さんからもあったように、必要であれば樹木医をき<br>ちんと入れるべきだということですか。   |
| 委員  | そうですね。私立ですが、幼稚園でも入れているところがあります。  |
| 説明員 | 今回は根が腐っていた訳ではなく、短時間に集中した雨と風、雷が<br>原因と考えられています。150年以上の樹齢ですが、腐って倒れてし<br>まったということはなかったようです。<br><br>そういった意味では、近年、想定をかなり上回る雷雨・風というこ<br>ろの対策は、一段上げて管理をしていかななくてはいけないと捉えて<br>おります。 |
| 教育長 | 本当に危機管理の、そのフェーズを1つ上げていく必要があります。  |
| 委員  | 最近、将来の不安が強かったり、人生の目的みたいなものを持ちづ<br>らかったりする若者が多くなっていると感じます。  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>学校でも先生から様々な話を聞いていると思いますが、違う角度から、例えばインフルエンサーの方にセミナーをやっていただいて、その中で、こんな生き方もあるのだと少しでも希望を持てるような体験を受けさせてあげれば、救われる子供もいるのかなと思いました。</p> <p>できたらそういうセミナーも考えていただければと思います。</p>  |
| 教育長 | <p>学校独自にやっているものもあると思うので、そういうものも含めて教育政策室のほうから御報告させていただければと思います。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>   |
| 委員  | <p>やはり、8月になると戦争に関する番組とかも多くやるようになって、私も実際に兵士として戦地で戦ってきた方のインタビュー映像を見ました。</p> <p>そういう方の実体験の話というのは心に響くものがありましたし、命の大切さというものをすごく感じて、日本では今、戦争がないので、今の時代に生まれたことがいかに幸せなことかということを感じることができました。</p> <p>ぜひ、そういうことを子供たちにも感じてほしいと思うので、平和教育について現状を教えていただければと思います。</p> |
| 教育長 | <p>それぞれの学校で様々な取り組みはやっていると思います。</p> <p>こちらも教育政策室でお願いいたします。</p>  |
| 教育長 | <p>それでは「報告事項」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に係る職員以外は退席願います。</p>   |
|     | <p>【報告事項 を議決して閉会】</p>  |
|     |  |
|     |  |

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
|  | 以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。 |
|  |                                      |
|  | 令和6年9月19日                            |
|  |                                      |
|  | 教 育 長                                |
|  | 教育長職務代理者                             |
|  | 委 員                                  |
|  | 委 員                                  |
|  | 委 員                                  |
|  | 書 記                                  |
|  |                                      |
|  |                                      |
|  |                                      |
|  |                                      |